

- 福島県教育庁社会教育課長 大越源三郎
- 福島県統計課主査 三瓶・昭

(4) 参加者

市町村社会教育主事
市町村社会教育課長等社会教育関係者

(5) 日程・研究内容および実施方法

日	時		
	午 前	午 後	夜 間
	9:00~12:00	1 00~4:00	7:00~8:30
9/28	受付	開会 これからの 成人教育に ついて(竹内)	教育統計について (三瓶)
/29	青少年の生活意識 と教育(田口)	社会教育主事の職 務(大越)	研究協議 (発表と討議)
/30	地域社会分析の理 論と方法(渡辺)	文化行政と文化財 (岡田)	レクリエーション
10/1	社会教育行政につ いて(湯上)	閉会	

(6) 研究会に作成した資料

- ① 昭和45年度社会教育主事研修会要領
- ② 市町村社会教育主事研修会実施報告書。

(7) 効果

飯坂町あづま荘に全員合宿し、長期研修の機会をもち講義・研究討議・実践発表等をおして熱心な研究が行なわれ、一般教養と社会教育の専門的教養を高め、社会教育主事としての資質の向上と指導力の強化がはかられたものと思われる。

3. 社会教育委員研究協議会

(1) 目的

社会教育をすすめるための社会教育委員の在り方は極めて重要な段階を迎えている今日、その性格、任務、および活動上の諸問題について研究協議を行ない、もって本県社会教育の振興に資する。

(2) 期日・会場・参加者数

- ① 期日 昭和45年7月9日~10日
- ② 会場 福島市飯坂町 婦人会館
- ③ 参加者数 49名

(3) 講師

- 東北大学教育学部教授 塚本 哲人
- 福島県教育庁社会教育課長 大越源三郎

(4) 参加対象者

市町村社会教育委員・同社会教育課長

(5) 内容

- ① 研究主題
社会教育の振興をはかるための具体策について
- ② 講義
 - 教育の生涯化とその振興方策について 塚本 哲人
 - 社会教育委員の性格と任務 大越源三郎
- ③ 分科会研究協議題
 - ア、青少年教育の振興充実方策について
 - イ、成人教育の振興充実方策について
 - ウ、社会教育施設の拡充方策について

(6) 効果

講義、分科会討議等において、「市町村教育委員研究協議会資料」を活用して、本県社会教育の現状を検討し、さ

らに、社会教育委員の性格、任務について理解を深め、市町村社会教育計画上の諸問題について研究討議が深められ社会教育委員として今後の活動が期待される。

4. 社会教育研究協議会

(1) 趣 旨

社会教育振興のため、社会教育行政関係者と社会教育行政に関連する行政関係者の参加を得て、相互の理解を深めるとともに、社会教育について総合的な研究協議を行ない、もって社会教育の振興および地域の発展に寄与することを目的とする。

(2) 期日・会場・参加者数

期 日	会 場	参加者数
45年 7月24日	宮下中学校(大沼郡)	127
" 11月 9日	郡山市中央公民館	80
" 11月25日	相馬郡鹿島町公民館	162
" 12月 1日	安達郡大玉村公民館	146

(3) 講 師

- 総理府青少年対策本部参事官 大塚 喬清(大玉村)
- 山形大学教授 江田 忠(郡山市)
- 同 上 同 上(鹿島町)
- 県教育庁教育次長 北橋 徹(宮下中)

(4) 参加対象

市町村長、市町村議会議長、市町村教育委員会教育長、小・中学校長、公民館長および教育委員、社会教育委員公民館運営審議会委員、明るく正しい選挙推進協議会委員。

(5) 内 容

- ① 研究主題
社会教育とこれに関連する行政機関、団体が行なう教育活動をどのように編成したらよいか。
- ② 分科会協議題
 - ア、地域振興のため社会教育行政をどのようにすすめたらよいか。
 - イ、地域振興のため社会教育活動をどのようにすすめたらよいか。
 - ウ、社会教育とこれに関連する機関団体が行なう教育活動をどう進めたらよいか。
- ③ 講演
現代における地域社会の特質と社会教育の振興について。

(6) 効果

社会教育関係者と社会教育に関連する行政機関関係者が一堂に会し、それぞれ行なう教育活動をいっそう効果的にするために、相互理解と協力体制の必要が認識され、各課題ごとの分科会を通して具体化され、今後より効果的な教育活動をそれぞれ行なううえで大きな示唆を与え、社会教育振興のために効果をあげ得たと思われる。

5. 社会教育研究指定市町村

(1) 趣 旨

社会教育と社会教育に関連する他の行政機関、団体の相互理解を深め、緊密な連係のものに、それぞれが行なう教育活動を総合的・計画的に進めるための具体的方策につい